



# JASSOソーシャルボンド

## 資金充当・社会的インパクトレポート

### 2018年度

2019年10月

- 本機構は、奨学金事業を通じてSDGsの目標4.「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に貢献するとともに、留学生交流の推進などを行う留学生支援事業、キャリア教育・就職支援や障害のある学生等への支援などを行う学生生活支援事業にも取り組んでいます。

## 奨学金事業

憲法、教育基本法に定める「教育の機会均等」の理念のもと、経済的理由で修学が困難な優れた学生等に学資の貸与及び給付を行っています。

- 貸与奨学金にかかる事業
- 給付奨学金にかかる事業



## 留学生支援事業

グローバル化が進展する中、留学生交流を一層推進するため、外国人留学生の受入れ・日本人留学生の派遣の両面から、奨学金の支給、情報提供等の支援事業を行っています。

- 外国人留学生の受入れ
- 日本人学生の海外留学推進
- 留学生交流担当教職員等への支援

## 学生生活支援事業

キャリア教育・就職支援や障害のある学生等への支援など、政策上特に重要性が高いものについて、好事例の収集・提供、調査、研修等を通じ、大学等の取組を支援しています。

- キャリア教育・就職支援事業
- 障害のある学生や固有のニーズがある学生の支援
- 学生生活・学生生活支援に関する情報の収集・分析・提供

# 適格プロジェクトカテゴリーである第二種奨学金の概要(1)

- 貸与・給付する学資金を「奨学金」といい、奨学金の貸与・給付を受ける者を「奨学生」といいます。
- 奨学金には、「給付奨学金」と「貸与奨学金」があり、貸与奨学金には「第一種奨学金」と「第二種奨学金」があります。

## 平成30年度 奨学金事業に係る財源内訳(実績)

### 給付奨学金

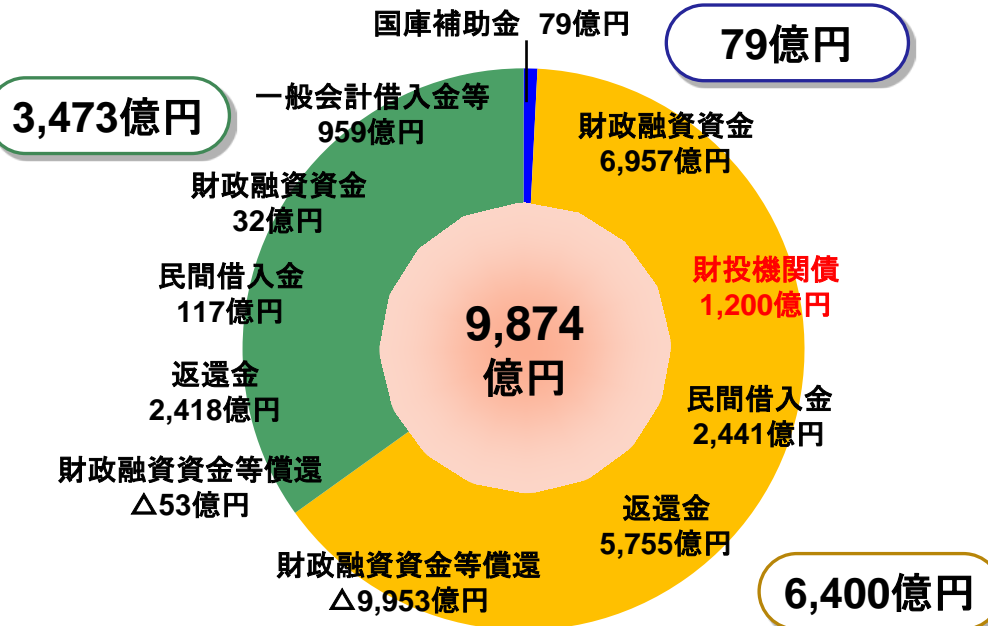
平成29年度に一部先行実施し、平成30年度から本格的にスタートした制度で、短大、大学、専修学校(専門課程)に進学する高校3年生、高等専門学校4年生に進級する高等専門学校3年生を対象に募集をし、進学・進級後に支給を行う、原則として**返還義務のない奨学金**です。意欲と能力のある若者が経済的理由により進学を断念することがないように、給付奨学金を交付することにより、大学等への進学を後押しすることを目的としたものです。

令和元年度においても給付奨学金制度を着実に実施することとしており、給付人員は累計で約4.1万人となります。

### 貸与奨学金 第一種奨学金

昭和18年度にスタートした制度で、短大、大学、大学院、高等専門学校、専修学校(専門課程)に在学する学生・生徒を対象とした、**無利息で貸与を行う奨学金**です。

特に優れた学生・生徒で、経済的理由により著しく修学が困難な者に貸与しています。



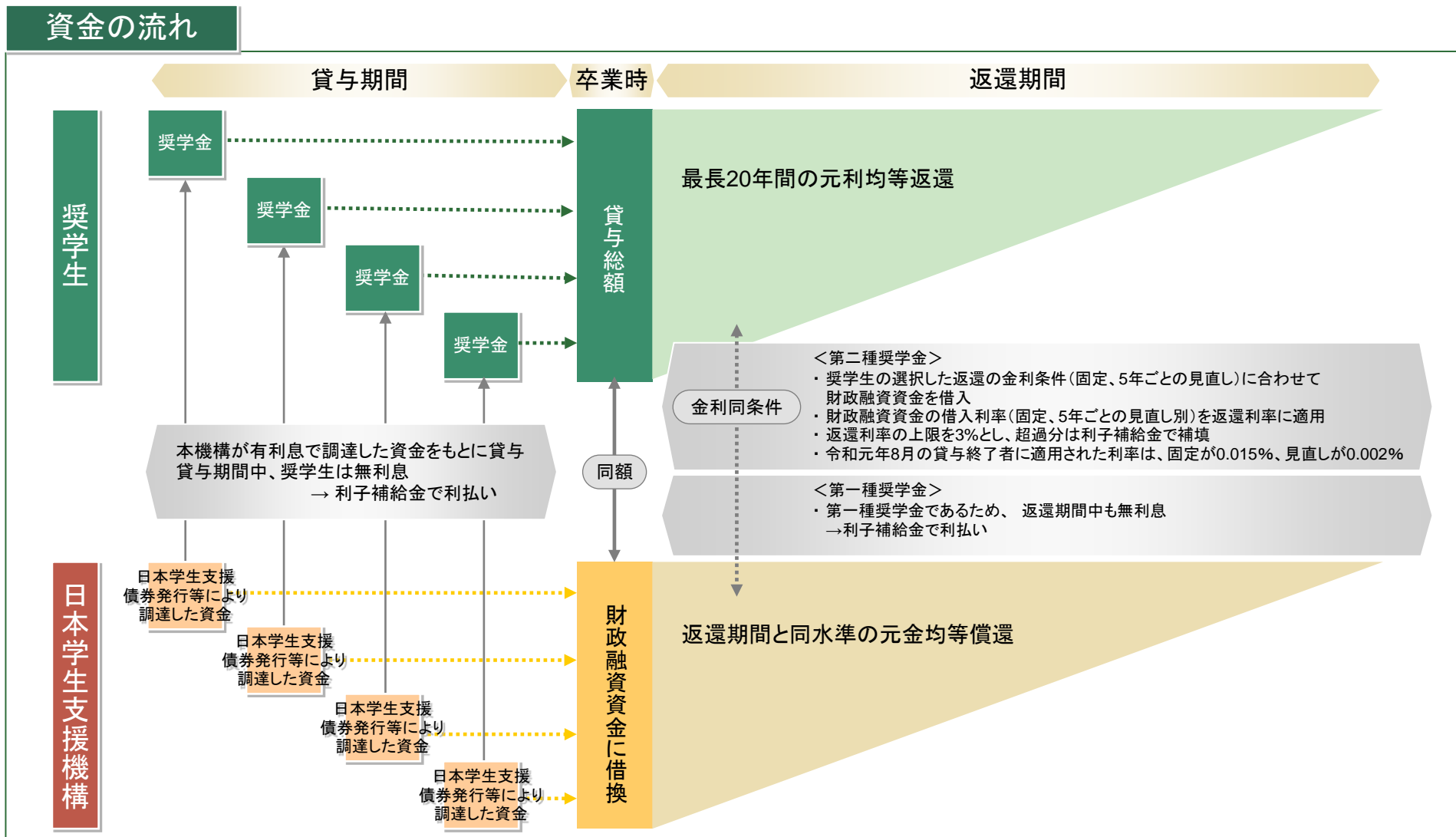
### 貸与奨学金 第二種奨学金

昭和59年度にスタートした制度で、短大、大学、大学院、高等専門学校(4・5年生)、専修学校(専門課程)に在学する学生・生徒を対象とした、**利息を付して貸与を行う奨学金**です。

第一種奨学金よりも緩やかな基準によって選考された者に貸与しています。

# 適格プロジェクトカテゴリーである第二種奨学金の概要(2)

- 財投機関債(ソーシャルbond)により調達した資金は、「**第二種奨学金の学資金**」として、奨学生に貸与されます。



※日本学生支援債券で調達した資金は、第二種奨学金の在学中資金に充当

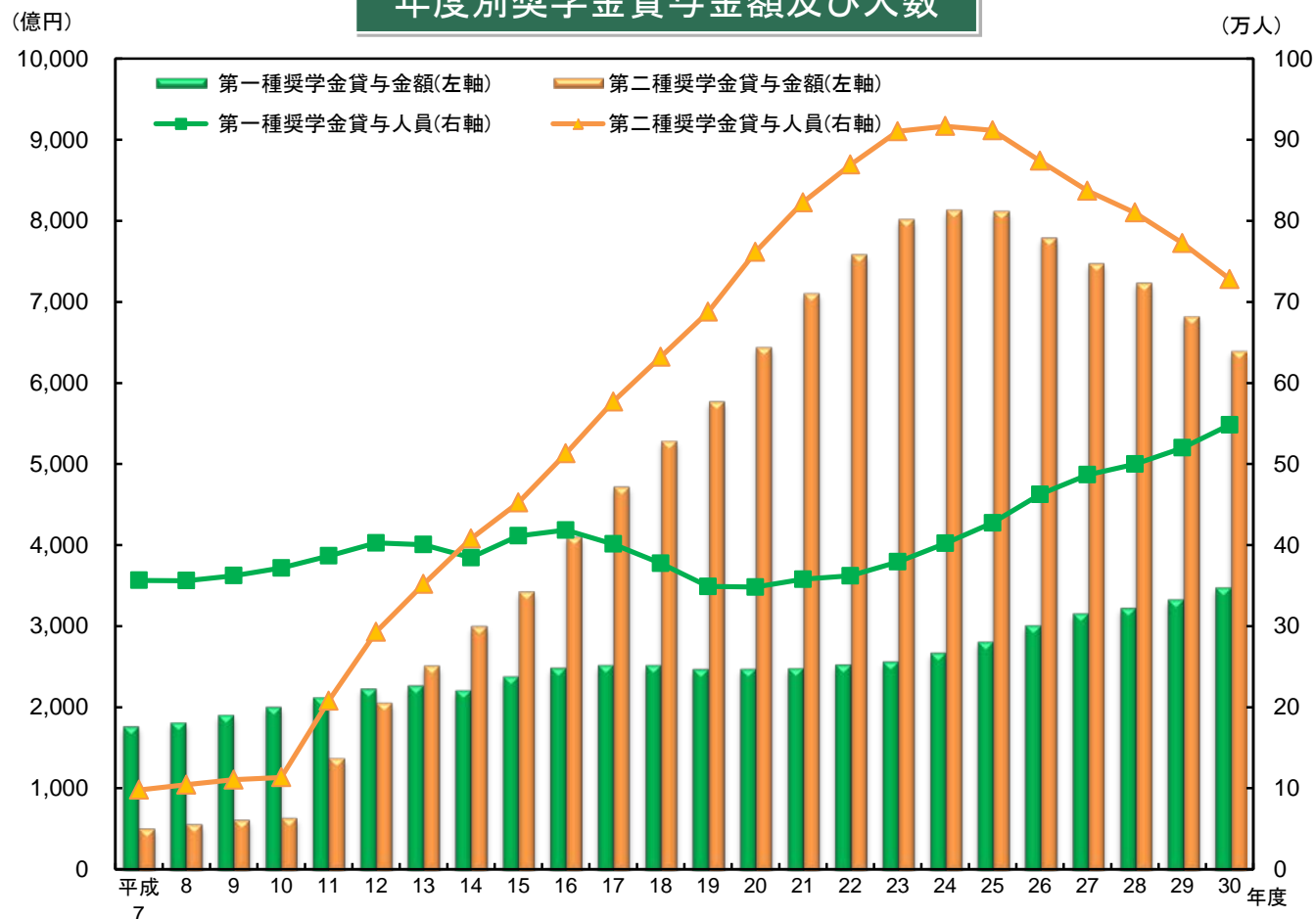
# 適格プロジェクトカテゴリーである第二種奨学金の概要(3)

- 進学率の上昇、近年の厳しい経済情勢下での家計の急変などにより、奨学金の希望者は年々増加しています。
- 第一種奨学金については、近年、「有利子から無利子」への流れを加速し貸与人員を増員しています。具体的には、残存適格者を解消するとともに、住民税非課税世帯の学生・生徒に係る成績基準を実質的に撤廃しています。
- 第二種奨学金については、基準を満たす希望者全員に対して奨学金を貸与することを目的として、平成11年4月に制度の抜本的拡充を行うとともに、採用基準についても緩和された結果、平成11年度以降の貸与人員は飛躍的に増加しています。

## 令和元年度の予算規模

	貸与人員	貸与金額
第一種	56.6万人	3,724億円
第二種	76.5万人	6,762億円
計	133.1万人	10,486億円

### 年度別奨学金貸与金額及び人数



本機構(旧日本育英会を含む)の奨学金貸与事業では、事業開始(昭和18年)以来、**76年間で約1,330万人**に対して、奨学金を貸与(**累計額約20兆円**)しています。

# 資金使途・社会的便益に関するレポート内容

- 日本学生支援債券(ソーシャルボンド)の発行による調達資金は、すべて「第二種奨学金の在学中資金」に充当されており、その社会的便益を示す指標は以下の通りです。

## 資金使途関連

年度	回号	発行日	償還日	資金充当額	未充当の資金充当残高	リファイナンス比率
2018年度	第52回債	H30. 09. 07	R02. 09. 18	300億円	0円	0%
	第53回債	H30. 11. 07	R02. 11. 20	300億円	0円	0%
	第54回債	H31. 02. 06	R03. 02. 19	300億円	0円	0%
2019年度	第55回債	R01. 06. 07	R03. 06. 18	300億円	0円	0%
	第56回債	R01. 09. 09	R03. 09. 17	300億円	0円	0%

## 社会的便益関連

年度	年度別第二種奨学金貸与人員	年度別第二種奨学金貸与金額	基準を満たす申請者のうち奨学金を貸与された奨学生の割合
2018年度	72.8万人	6,400億円	100%
(参考) 2017年度	77.2万人	6,827億円	100%

## 参考情報

年度	18歳人口 (出所:文部科学省「学校基本調査」)	高等教育機関への進学率 (出所:文部科学省「学校基本調査」)	高等教育機関で学ぶ学生数 (出所:本機構)	奨学金受給者数 (出所:本機構)	貸与割合
2018年度	118万人	81.5%	348.1万人	127.6万人	36.7%
(参考) 2017年度	120万人	80.6%	347.7万人	129.2万人	37.2%



## (ご参考)元奨学生の声

JASSOには、返還を終えられた元奨学生等から、多くの感謝の声が届いています。

このたび、奨学金の返還完了証をいただける。無事、返還を終えることができ、正直、ほっとしているところである。受験を控えていた最中に阪神大震災により家は半壊しました。なんとか大学に合格したものの、学費が大きな悩みでした。奨学金のおかげで大学に通うことができ、多くの仲間に出会えたことが、今の私にとっての大きな財産です。

約20年前、学生生活のほとんどにおいて奨学金による支援のおかげで、両親の負担が軽減され、私自身、勉学や学生生活が大変充実しました。現在は就職、結婚、子育てで小遣いも豊かに生活しております。無事に金額を返還することができ、安堵しております。今後とも学生の経済的支援をよろしく願っています。長期にわたりお世話になりました。ありがとうございました。

今日で全額 返しました。  
 美術大学を卒業し、障害をもち子供達の学校で、図工、美術、芸術の授業をいたしました。  
 車いすの子供達に絵を教えるのが夢だったので、夢が叶いとても感謝しています。  
 ありがとうございます。  
 これから夢を叶える学生にがんばってほしいです。

卒業後、地元企業へ無事就職が決まり、早いもので10年目を向かえます。経済不況が言われる中、3年間変わらず支えて下さった貴行の皆様により御礼申し上げます。  
 皆様へのご恩と感謝を忘れず、より一層精進して参りたいと思います。

私はお借りした奨学金で夜間部の大学を卒業し、教員免許と司書の資格を取得することができました。  
 お陰様で現在その資格を活かし、放課後児童クラブ(学童保育)の支援員として勤めております。  
 父の病気などもあり、奨学金制度がなければ、大学に進むことは難しく、又、この制度がなければ今の自分はなかったと思っております。今では家庭を持ち、二人の子宝にも恵まれました。本当に感謝しております。

- 本資料は、投資家の皆さまへの情報提供のみを目的としたものであり、債券の募集、売出し、販売などの勧誘を目的としたものではありません。
- 債券のご投資判断にあたりましては、当該債券の発行にあたり作成された債券内容説明書など、入手可能な直近の情報を必ずご確認ください、皆さまご自身の責任でご判断くださいますようお願い申し上げます。

## お問い合わせ先

独立行政法人日本学生支援機構

財務部資金管理課

TEL 03-6743-6024 (ダイヤルイン)

FAX 03-6743-6665

投資家の皆さま向けのホームページもございます。

<https://www.jasso.go.jp/about/ir/index.html>



JASSO IR情報

検索



独立行政法人

日本学生支援機構

Japan Student Services Organization